



19 大事第 21号
平成19年4月27日

国土交通省道路局長 様

大川村長



中長期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付、国道企第114号で依頼のありました標記の件につき、別添提出します。

なお、特定税率が使われている道路特定財源が一般財源に傾斜配分されることの無いよう、真に格差是正がなされる道路施策が計画されることを切望いたします。

中長期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

四国四県の願いであった早明浦ダムが完成し、治水・生活用水・工業用水、発電用水等、その成果は現れている。

しかしながら、国策によって実施した吉野川総合開発は、本村を超過疎の村としたばかりか、今日、中央では、過疎・不便な地域に住むこと自体を否定するに至っている。

森林を守り、水を育てこそ早明浦ダムほか各地のダムの役割が果たされていることを都会呆けた人々の頭の中からは抜け落ちていることに憤りさえ覚える。

平成の大合併によって嶺北5ヶ町村が4ヶ町村となり、その影響によって、本村と隣村に置かれていた消防出張所も廃止され、生活に不安を抱える日々を送っている。

高齢化率が実質50%を越えており、安心安全を担保することは本村の最重要課題である。

東西17km、南北8kmにおよぶ本村の中央を流れる吉野川（早明浦ダム含む）に沿って走る県道17号線は、早明浦ダム堰堤上流からの僅か10数キロの間に、大・小はあるものの100を越えるカーブがあり、改良工事も殆ど進んでいない現状である。

本村から中核病院に救急患者を救急車で搬送する場合も中核病院付近から出動するため最短で往復1時間、平均でも2時間以上はかかってしまい、救急搬送とは言い難く、尊い人命を失うことさえ危惧される。

県道17号線は早明浦ダム建設当時の工事用道路でしかなく、山腹崩壊、路側決壊が、しばしば発生する。

近年の温暖化傾向の影響か、集中豪雨が度々発生し、時間雨量50mm、日雨量200mmで通行制限がかかることは年間しばしばあり、高齢者を初めとする弱者の救急搬送に不安がある。

このようなことから、下記のことを念頭に中長期的な計画を作成していただきたい。

記

1. 高齢者を初めとする救急患者搬送の時間短縮、支障のない道路政策の充実
1. 集中豪雨時、台風時にしばしば制限が掛かり、村が孤立化しているため安全安心な道路整備政策の充実
1. 口先だけで終わらない「美しい国・日本」創造のためには、環境を守っている地域の地方道から生活道に至る道路整備政策の充実

平成19年4月26日

高知県土佐郡大川村
大川村長 合 田 司 郎